

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 026	提案機関名 神奈川県 畜産課
要望問題名	食農教育が畜産業への理解醸成に及ぼす影響の評価
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】	<p>飼料価格の高止まりや国際化の進展による将来不安などで、生産基盤が脆弱化している酪農の現状において、収益を確保するため、酪農家は生産性向上に努めているが、同時に、持続可能な酪農業のため、適正な販売価格の実現に取り組む必要があり、その際、消費者の理解や協力が求められる。</p> <p>現在、県内において、酪農家自らが搾乳体験、県内酪農業の紹介などを地域交流イベントや学校での出前授業で行っているが、こうした活動は食農教育の一環として酪農の理解醸成につながる非常に重要な取組と考える。そこで、より効果的な食農教育の実践につなげるため、食農教育が酪農業や畜産業に対する消費者の理解醸成等に及ぼす効果について明らかにしていただきたい。</p>
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 新たな畜産物ブランドの認知度向上手法に関する研究（平成28年）		
対応の内容等	<p>酪農家が地域住民、消費者に搾乳、餌やりなどの酪農体験、牛や酪農業の話など交流の場を設けることは、酪農への理解に重要であると考えますが、酪農家はこれらの活動を食農教育としてだけでなく、イベントとして捉えて実施している場合もあります。また消費者の酪農業や畜産業に対する理解醸成を図るにはある程度の時間がかかるため、その効果を検証することは難しいと考えます。</p> <p>当所では平成28年度に酪農家を実施するイベントについて実施前後にアンケートを行い、理解度を測定しておりますので参考にしてください。活動の理解度を測定するためのアンケート作成については、個別に対応させていただきます。</p>		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			